

令和8年4月16日14:00 解禁

報道関係各位

令和8年(2026)4月16日

独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館

読売新聞社

NHK

皇居三の丸尚蔵館 今秋ついにグランドオープン 記念の特別展 3展の開催が決定



皇居三の丸尚蔵館 外観(東面)



先行チラシビジュアル

皇居三の丸尚蔵館は、皇室にゆかりの絵画・書・工芸品などを収蔵し、保存管理、調査研究、展示公開を行っています。令和元年(2019)からは、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うため、新たな施設の建設が進められてきました。

令和5年(2023)11月に「皇居三の丸尚蔵館」の名称で一部を開館し、開幕記念展などの展覧会を通じて当館の名品を紹介してまいりました。現在は接続工事等で休館中ですが、このたび、グランドオープン記念を記念して、今秋以降、3つの特別展を連続して開催することが決まりました。

特別展「皇室の至宝—美いづるところ」

特別展「国宝 動植綵絵 いろどりの世界」

特別展「日本の書の美1300年」

会期や、展示内容の詳細は後日公式サイトなどで発表します。

【開催概要】

皇居三の丸尚蔵館の全面開館を記念して、グランドオープン記念特別展を3つの特別展として開催します。歴代の皇室に伝えられた名品を中心にご覧いただきます。初回の特別展では日本美術の名品を中心に皇室が守り受け継いできた優品を紹介します。2つめの特別展では伊藤若冲の国宝「動植綵絵」全30幅を一堂に展示し、3つめの特別展では書の名品を多数展示いたします。

【展覧会名】 皇居三の丸尚蔵館グランドオープン記念特別展

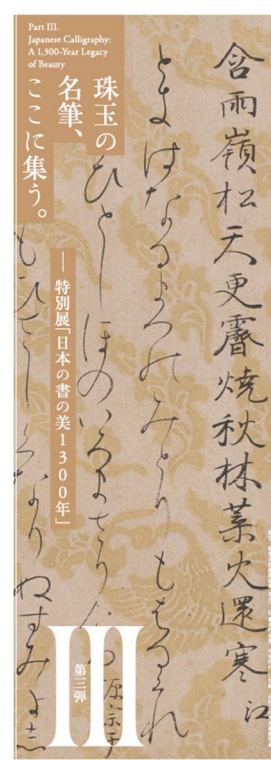
- ① 特別展「皇室の至宝—美いづるところ」
- ② 特別展「国宝 動植綵絵 いろどりの世界」
- ③ 特別展「日本の書の美 1300年」



「皇室の至宝—美いづるところ」イメージ



「国宝 動植綵絵 いろどりの世界」
イメージ



「日本の書の美 1300年」
イメージ

【主催】 皇居三の丸尚蔵館、読売新聞社、NHK



本展は、文化庁、宮内庁、読売新聞社が連携・協力して取り組む「日本美を守り伝える『紡ぐプロジェクト』—皇室の至宝、国宝プロジェクト」の一環として開催します。収益の一部は、文化財の修理助成事業に充てられます。

【皇居三の丸尚蔵館について】



皇居三の丸尚蔵館 外観(南面)

宮内庁の三の丸尚蔵館は、平成元年(1989)に上皇陛下と香淳(こうじゅん)皇后(昭和天皇の皇后)により、皇室に代々受け継がれた絵画、書、工芸品、歴史資料などが国に寄贈されたことを機に、その保存と研究、公開を目的に、同5年(1993)11月に皇居東御苑内に開館しました。

館名の「尚蔵(しょうぞう)」は、大切に保管するという意味を持ちます。古代律令制において天皇に関わる器物を管理する蔵司(くらのつかさ)の長官「くらのかみ」に由来し、また旧江戸城三の丸の地に建設されたことから、「三の丸尚蔵館」と名付けられました。

その後、平成8年(1996)に旧秩父宮家、同13年(2001)に香淳皇后ご遺品、同17年(2005)に旧高松宮家、さらに同26年(2014)に三笠宮家から、それぞれご寄贈を受け、収蔵品に加わりました。

令和元年(2019)からは、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うために、新たな施設の建設が進められました。同5年(2023)には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、同年11月に「皇居三の丸尚蔵館」の名称で、一部を開館しました。一部開館後は開幕記念展などの展覧会を通じて当館の名品を紹介してまいりました。

現在は接続工事等で休館中ですが、同8年(2026)秋の全面開館により、新しく生まれ変わった皇居三の丸尚蔵館が皆さまをお迎えします。

皇居三の丸尚蔵館公式ウェブサイト: <https://shozokan.nich.go.jp/>

公式インスタグラム: @shozokan_pr

【報道に関するお問い合わせ】

皇居三の丸尚蔵館広報事務局(共同PR内) 担当: 三井

TEL: 03-6264-2382 E-mail: shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp